

2012年チーム美らサンゴ サンゴ再生プログラム活動実績報告

ご後援いただきました「チーム美らサンゴ 2012」の活動が終了し、下記の実績となりましたのでご報告いたします。

1. チーム美らサンゴ参加企業(計 14 社)

沖縄企業 6 社・東京企業 6 社・静岡企業 1 社・大阪企業 1 社が参画しました。
詳細は下記の通りです。

沖縄県： 沖縄タイムス社、琉球放送、オリオンビール、沖縄海邦銀行、
沖縄電力、沖縄ヤマト運輸
東京都： 月刊ダイバー、PADIジャパン、ANA、mic21、住友化学、アップフロントエージェンシー
福岡県： ヤマハ発動機
大阪府： イサム塗料

※新規入会：住友化学、アップフロントエージェンシー、沖縄ヤマト運輸

2. 後援・協力

チーム美らサンゴの運営に関し、下記の団体よりご後援・ご協力いただきました。

後援： 環境省、沖縄県、恩納村
協力： 恩納村漁業協同組合、ANA インターコンチネンタル万座ビーチリゾート、
(NPO) 沖縄観光・産業研究会

3. サンゴ苗作り・植え付け活動実績

サンゴ公開植え付け・ツアーを開催し、その実績は下記の通りとなりました。今年は 3 つの大型台風が接近した影響を受け、5 月、6 月に植えつけたサンゴに大きな被害が生じました。しかし残ったサンゴは順調に生育し、スズメダイ等の棲み込みとサンゴの増加により、ブダイ等の魚の食害も軽減してきております。今後は保護カゴ無しの植え付けの検討や、サンゴ基盤を改良し、植え付け作業の効率化を図り、より多くのサンゴを植え付けていきたいと考えています。

開催回数	一般公募 4 回(5 月～11 月)、記念植え付け 1 回
参加者合計	181 名(ダイバー117 人、ノンダイバー64 人)
植え付け本数	316 本(含 記念植え付け 100 本分)
場所	恩納村海域
サンゴ種類	トゲスギノキミドリイシ、スギノキミドリイシ、コエダミドリイシ、ヒメマツミドリイシ、 ハイマツミドリイシ、ウスエダミドリイシ、タチハナガサミドリイシ、ハナバチミドリイシ、 クシハダミドリイシ、キクハナガサミドリイシ、Acropora subulata(スブラータ)、 ムギノホミドリイシ、ハナガサミドリイシ、ホソエダミドリイシ、ヤッコミドリイシ、 サボテンミドリイシ 他 8 種 計 24 種
生育状況	別紙ご参照ください。
ホームページでの活動公開「チーム美らサンゴ」	http://www.tyurasango.com/

4.植え付け活動参加者数詳細

参加人数 181 名の内訳について、下記の通りとなりました。

- 5月26日 第1回サンゴ植え付け
参加者 ダイバー13名、ノンダイバー8名(一般公募・PADIツアー)
- 6月23日 第2回サンゴ植え付け
参加者 ダイバー40名、ノンダイバー36名(一般公募・PADIツアー)
- 10月20日 第3回サンゴ植え付け
参加者 ダイバー37名、ノンダイバー15名(一般公募・PADIツアー)
- 11月17日 第4回サンゴ植え付け
参加者 ダイバー27名、ノンダイバー5名(一般公募・PADIツアー)

※ 費用負担方法

チームは、ダイバーの備船代、指導料、さんご苗の金額として、7,350円/ダイバー1名、2,100円/ノンダイバー1名を負担する。ダイバー参加者は、ダイビング実費(タンク代、用具レンタル代など)9,450円を負担する。ノンダイバー参加者は、海中展望船料、スノーケリング指導料の合計金額として3,150円/人を負担する。

5.チーム美らサンゴ祭り

地元恩納村の子供たちに自分たちの海で起こっていることに関心を持ち、親子で環境保全について語り合う機会を持って頂きたいとの趣旨から、「チーム美らサンゴ祭り」を開催、サンゴや美ら海について楽しく学んでいただけるプログラムを提供しました。

約200名の来場者が集まる中、タレントのさかなクンを招き、トークショーを通して、沖縄の海の現状などを楽しみながら、学んでいただきました。

- ◆日時:2012年10月21日(日)
- ◆場所:ANAインターコンチネンタル万座ビーチリゾート
- ◆実施内容:トークショー、魚クイズ、サンゴの苗作りプレートへのメッセージ記入など

6.サイエンスアゴラ(科学イベント)

東京・お台場にて開催されえた科学イベント『サイエンスアゴラ 2012』にワークショップを出展し、東京の子供たちにも、沖縄の海の現状を知っていただき、遠く離れた東京にいても、自分たちに出来ることを親子で考えてもらいました。

- ◆日時:2012年11月10日(土)
- ◆場所:日本科学未来館
- ◆実施内容:トークショー、サンゴクイズ、サンゴの苗作りプレートへのメッセージ記入など

7.農林水産大臣賞(漁場・環境保全部門)受賞

2012年11月18日(日)に沖縄県糸満市で開催された「第32回全国豊かな海づくり大会」にて、農林水産大臣賞(漁場・環境保全部門)を受賞いたしました。

受賞に際しては、公募によるボランティアダイバーがサンゴ植え付け活動を行うことで、広範囲な市民に対して環境保全意識の啓発に繋がり、より環境に優しい社会の実現に貢献したことや、企業、市民、地域、行政がそれぞれの役割を果たしつつ、一体となって環境保全に取り組んでいる先進的な活動であることが評価されました。

大会関連行事として行われていた「沖縄豊かな海づくりフェスタ2012in糸満」(2012年11月17日・18日開催)にも、恩納村漁業協同組合と共同でブースを出展し、2日間でのべ4500名もの方にお越しいただきました。チーム参加企業のアップフロントエージェンシー所属タレントの元・モーニング娘。の石川梨華、吉澤ひとみも参加し、パネル展示やクイズ抽選会を通し、より多くの方に、環境について考えていただく啓発機会となりました。

また、「チーム美らサンゴ」は、同大会の式典行事において、天皇・皇后両陛下よりお手渡しいただくサンゴの記念植え付け実施団体にも認定されました。お手渡しいただいたサンゴ種苗は、下記の日程で記念植え付けを行いました。

◆日時 : 2012年11月23日(祝) 10:00~12:00

◆場所 : 恩納村海域

8.コーラルフォトコンテスト

海洋生態系保護や地域風土に関する普及啓発活動の一環として、『コーラルフォトコンテスト』を開催しました。写真を通じて多くの方々に豊かなサンゴの海や沖縄の魅力を伝えること、親しみを感じていただくことを趣旨としています。合計427点の作品をご応募いただき、審査員による厳選の結果、下記の賞・作品を選出しました。応募作品は全てHP上でご覧いただけます。

◆募集期日 : 4月1日~10月31日

◆結果発表 : 12月1日

◆応募・受付方法 : チーム美らサンゴHP上、およびパンフレットで告知。作品はHPより受付。

◆テーマ(部門) : サンゴ・サンゴ礁の生き物・サンゴを取り巻く人々・海辺の風景・沖縄

◆審査員 : 伊禮健氏(沖縄タイムス社写真部部長)

◆賞 : グランプリ・各部門賞

以上